



下総つつしん



令和4年7月1日
医療法人社団 踏青会 下総病院
千葉県八千代市米本2472-2
047-488-2135



お盆外泊中止のお願い

今年は例年になく早い6月末の梅雨明け、そして連日の猛暑日。気温が非常に高く蒸し暑い為、体調管理が難しいと感じる毎日ですが、ご家族の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染対策の為、長らく面会をご遠慮いただいている状況が続いておりご迷惑をおかけしております。ご家族の皆様のご協力に感謝いたします。

さて、当院では例年ではご家族様にお盆外泊をおすすめしておりましたが、今年も感染症予防対策のため、誠に勝手ではございますがご遠慮お願い申し上げます。外出についても同様とさせていただきます。

面会の再開が検討できる段階になりましたら、当院ホームページやお手紙にてお知らせさせていただきます。その他ご不明な点がございましたら相談室までお気軽にお電話下さい。今後ともご協力の程よろしく願いいたします



限度額適用・標準負担額減額認定証について

限度額適用・標準負担額減額認定証の有効期限は令和4年7月31日までとなっております。

引き続き認定を受けるためには、再申請の手続きが必要になりますので7月中に各市町村の国民健康保険、または高齢者の窓口で手続きをお願いします。手続きの際には保険証、限度額認定証、印鑑をご持参下さい。新しい認定証がご自宅に届きましたら、病院受付にご提示をお願いします。

また市町村によって異なりますが保険証の期限も7月31日までの自治体があります。お手元に新しい保険証が届きましたら、早めに病院受付にご提示をお願い致します。

限度額認定証を持っていますと、外来、入院とも窓口での支払が限度額までとなります。限度額は各世帯の所得によって異なります。所得の申告をしていない場合や、保険料を納付していないと交付されない場合がありますので、詳しくは役所の窓口やご加入の保険者にお問い合わせ下さい。



編集後記

毎日30℃を超える猛暑日が続いています。思いがけず早い夏の到来に戸惑ってしまいますね。皆様はお変わりなくお過ごしでしょうか？

近頃、熱中症で搬送された等のニュースをよく聞くようになりました。熱中症は、体が暑さに慣れていない梅雨明けの時期にも起こりますので注意が必要です。今年は電力不足のため節電が求められていますが、節電は無理せず、ムダを省く事が大切です。こまめに水分を補給する等通常の熱中症対策に加え、「住まいを涼しくすること」「エアコンを効果的に使うこと」「暑さに強い体を作ること」で節電の夏を熱中症にならずに乗り切りましょう。

健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証	
氏名	情報 太郎
性別	男
生年月日	昭和××年××月××日
氏名	情報 花子
性別	女
生年月日	昭和××年××月××日
住所	〒××-××××
健康保険番号	平成××年××月××日
有効期限	平成××年××月××日
適用区分	才
保険料納付	年 月 日
所在地	東京都千代田区富士見1-12-4 T J K プラザ
保険者番号	06137418
保険者	東京都市部地区第一社会保険組合



作業療法室



お久しぶりです。前回の下総通信では春の作業療法の様子をお伝えし、「徐々に暖かくなってきました♪」なんて書いていたかと思います。あれから2カ月ほどしかたっていませんが、次第に暑い日も多くなり汗をかきながら患者さんと作業をしている毎日です。

ほんと、あっという間…年齢を重ねるごとに1年が早く感じます（泣）

さて、今回も前回に引き続き、行った作業療法プログラムをいくつか紹介していきたいと思います。



《ひまわりの園芸》



日頃室内にいたことが多い患者さん。外へ連れ出す口実作りのためと、植物を育てる中で様々な刺激を感じてほしいと思い去年から始めました。最初は出来るか不安がっていた方もいました。しかし始めると、皆さん自分のひまわりが気になるようでプログラム外の時間にもよく見に来てくれます。

提供している側としては、なんとしても枯らすわけにはいかないと実は結構陰で奮闘しております（笑）

←お世話している様子
やはり自分で種から育てたひまわりは愛おしいようで、皆さん作業療法室に来た時はすぐに水やりを行います。

周りを気にせずマイペースに育てればいいと思いますが、他の患者さんのひま

わりと比較して小さいと心配したり、逆に自分のひまわりが一番立派だと喜んだり、いつの間にか勝手に品評会が始まります（汗）



《運動会》



毎年恒例の運動会です。コロナ自粛でたくさんのイベントが中止となる中、なるべく患者さんの楽しみを奪うことのないように、作業療法室では対策をしっかりと行ったうえで、このコロナ禍でも毎年開催しています。写真からは患者さんのやる気がひしひしと伝わってきます。

平時と同じような種目はできませんが、なるべく接触の少ない競技を考えて行いました。

↓「言葉並び替え競争」



文字を並び替えて正解の言葉を導き出します。

車椅子の方は職員がサポートして行うのですが、やりすぎて患者さんの自主性を削いでしまわないように毎回そのさじ加減に苦労します。



スペースの都合上、画像付きでの紹介は1種目だけですが、他にも「関所破りゲーム」「玉入れ」を行いました。特に玉入れは毎年恒例の人気種目なので皆さん張り切って投げていました☆彡

作業療法士 仲里

